

次世代への教育

設計施工×BIM・VR活用についての出張講義～本社

国土館大学世田谷キャンパスで、建築学系の生徒を対象とした出張講義を行いました。出張講義は昨年からは始めており、今回は対面とオンライン併用の形態で行い、約20名(対面授業の参加者は7名)の学生が参加しました。講義は「設計施工におけるBIM活用」というテーマで、施工管理とICT・BIMの取り組みを説明した後、VRによる体験学習を行いました。VR体験では、当社が施工中の新築工事をモデルに、足場等の細部や内装だけでなく、時間による見え方の違いを確認しました。今後も出張講義を通して、当社の最先端技術を発信することで、次世代の興味・関心を引き出せるよう努めていきます。



設計部前田部長による説明の様子



VRを体験中

オンライン見学会を開催～鳴尾研究所

鳴尾研究所では、岐阜工業高等専門学校生を対象としたオンライン見学会を開催しました。この見学会は、建設業や当社の技術研究を学んでいただくことを目的としており、鳴尾研究所の役割の説明や実験装置を閲覧し、その機能の解説等を行いました。また、新たな取り組みとしてカメラを使って実験装置に寄ったり、中に入ったりと普段の見学会では確認できない研究所の内部も紹介しました。見学会後のアンケートでは、リアルタイムにやり取りができたという点で高評価でした。この先も次世代の担い手確保を図るため、見学会等で建設業をPRし魅力を発信し続けることを心掛けていきます。

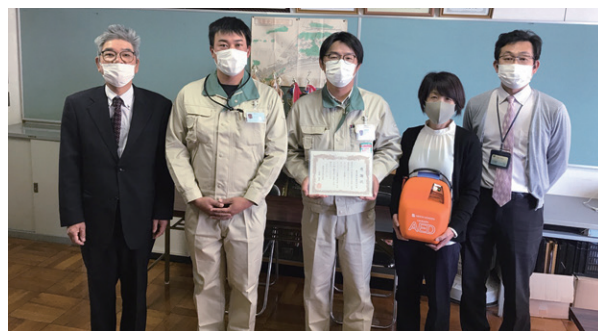


webカメラとジブを併用することで様々な場所の撮影が可能に

地域との共生

AED(自動体外式除細動器)の寄贈～四国支店

四国支店は高知市立長浜小学校と高知市立三里小学校にAEDを寄贈しました。寄贈した小学校からは、「多くの人が集まる場である学校に、人の生命を守る・救う貴重なAEDをいただき、大変心強く思う。複数所有となったことで、校外活動時の校外への持ち出しや、水泳の授業時のプールへの配置等、既存の場所以外の活用が可能となった」との御礼状をいただきました。



AED寄贈(三里小学校)

フェイスシールドの提供～国際支店

2020年8月、フィリピン政府が公共交通機関利用者に対し、フェイスシールド着用の義務化を発表しました。これに伴い国際支店では、近隣住民の方に新型コロナウイルス感染症対策支援の一環として、フェイスシールドを提供しました。

四国支店、国際支店の活動は、コロナ禍において地域コミュニティが希薄化する中で、地域とのつながりを強めるきっかけづくりができたと考えています。

環境への貢献

海守唐津海岸清掃ボランティアへの参加～九州支店

九州支店は2006年から海守活動*の一環として、佐賀県唐津市にある東の浜で海岸清掃を実施しています。今回で11回目の開催となり、当社職員26名を含む総勢65名が参加しました。地道な活動ではありますが、海の環境保全に少しでも貢献できると信じてこれからも継続していきます。

※海守活動:海の安全と環境を守るために活動する情報提供ボランティアのこと。



海守唐津海岸清掃